

お金の計画

令和 5 年度当初予算が、3 月の第一回定例町議会で審議され、成立しました。当初予算は、一年間で町がどのくらいの収入を見込み、そのお金をどのように生かしていくのかを示したものです。

今月号の特集では、今年度のお金の計画について説明します。

※金額は四捨五入・切り捨て・切り上げをしているため、合計と一致しないことがあります



会 計 名	令 和 5 年 度 当 初 予 算 額	令 和 4 年 度 当 初 予 算 額	前 年 度 か ら の 増 減 額
一 般 会 計	152 億 7,700 万円	98 億 6,400 万円	54 億 1,300 万円
特 別 会 計	14 億 5,870 万円	14 億 7,566 万円	▲ 1,695 万円
国 民 健 康 保 険	4 億 9,526 万円	4 億 9,981 万円	▲ 455 万円
後 期 高 齢 者 医 療	1 億 9,162 万円	1 億 8,756 万円	407 万円
介 護 保 険 サ ー ビ ス	804 万円	791 万円	13 万円
公 共 下 水 道	7 億 5,566 万円	7 億 7,473 万円	▲ 1,908 万円
地 方 卸 売 市 場	813 万円	565 万円	248 万円
水 道 事 業 会 計	16 億 8,777 万円	9 億 2,104 万円	7 億 6,672 万円
全 会 計	184 億 2,347 万円	122 億 6,070 万円	61 億 6,277 万円

予算総額は前年度より 61 億 6,277 万円増加

倶知安町の会計は、一般会計・特別会計・水道事業会計に区分して経理されています。

倶知安町における令和 5 年度予算総額は、各会計を合わせた 184 億 2,347 万円で、前年度比 50.3%（61 億 6,277 万円）の増となりました。

そのうち一般会計は 152 億 7,700 万円で、前年度比 54.9%（54 億 1,300 万円）の増となり、特別会計は 14 億 5,870 万円で前年度比 1.1%（1,695 万円）の減となっています。

また、水道事業会計は、16 億 8,777 万円で前年度比 83.2%（7 億 6,672 万円）の増となりました。

? 財政に関する用語解説

一般会計

税金を中心とした収入で、福祉や教育、道路など幅広い範囲の事業を行う会計。

水道事業会計

独立採算による事業を経理する会計。主に水道水の供給や水源、水道管の整備や維持管理を行う。

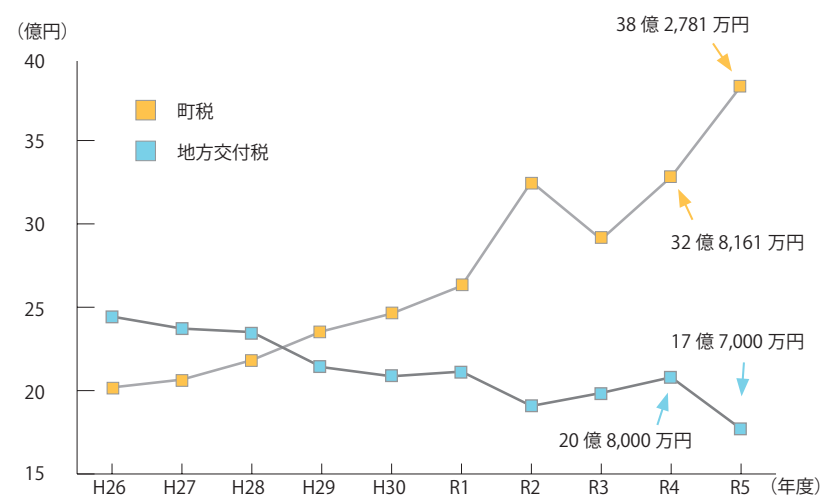
特別会計

特定の収入で特定の事業を行う会計。倶知安町の場合、次の 5 つを特別会計として設けている。

- ①国民健康保険事業
主に国民健康保険加入者の医療費を給付する。
- ②後期高齢者医療事業
主に 75 歳以上の方の医療費を給付する。
- ③介護保険サービス事業
主に地域包括支援などの介護事業の運営管理の経理を支出する。
- ④公共下水道事業
主に下水道管や下水処理施設の整備や維持管理を行う。
- ⑤地方卸売市場事業
主に町地方卸売市場施設の維持管理を行う。

堅調な伸びを見せる固定資産税の増額などにより町税が増額

町税・地方交付税の推移（平成 26 年度～令和 5 年度当初予算額）



町税は、前年度比 16.6%（5 億 4,620 万円）の増となりました。

主な要因としては、土地、家屋課税いずれも堅調な伸びを見せている固定資産税で、特にニセコひらふ地区における大型物件の新築などにより、4 億円を超える増額を見込むためです。また、宿泊税においても 1 億 1,400 万円の増額を見込んでいます。

また、地方交付税は前年度比 14.9%（3 億 1,000 万円）の減額を見込んでいます。

町有地売却による収入を基金に積み立て今後の事業に活用

基金は、ニセコひらふ地区の町有地売却の収入額相当分を公共施設整備基金および財政健全化基金へ新規に積み立て、今後の事業の財源としての活用を見込みます。また、小中学校等改修工事や公民館設備更新工事などの財源として公共施設整備基金を活用するほか、安定した行政サービスを行うために、財政健全化基金を 4 億 4,000 万円取り崩します。

町債の借入は、新規事業として街路灯 LED 化事業や小川原脩記念美術館照明改修工事などに組み、全体で 106.5%（8 億 2,810 万円）の増となりました。

なお、町債の償還額は前年度比 3.9%（3,068 万円）減の 7 億 5,456 万円となります。

？ 財政に関する用語解説

基金

町の「貯金」。財政健全化基金は、財源不足を補うために積み立てた基金の一つで収入が支出を上回った場合、その 1/2 を下回らない額を積み立てることが法律で決まっている。

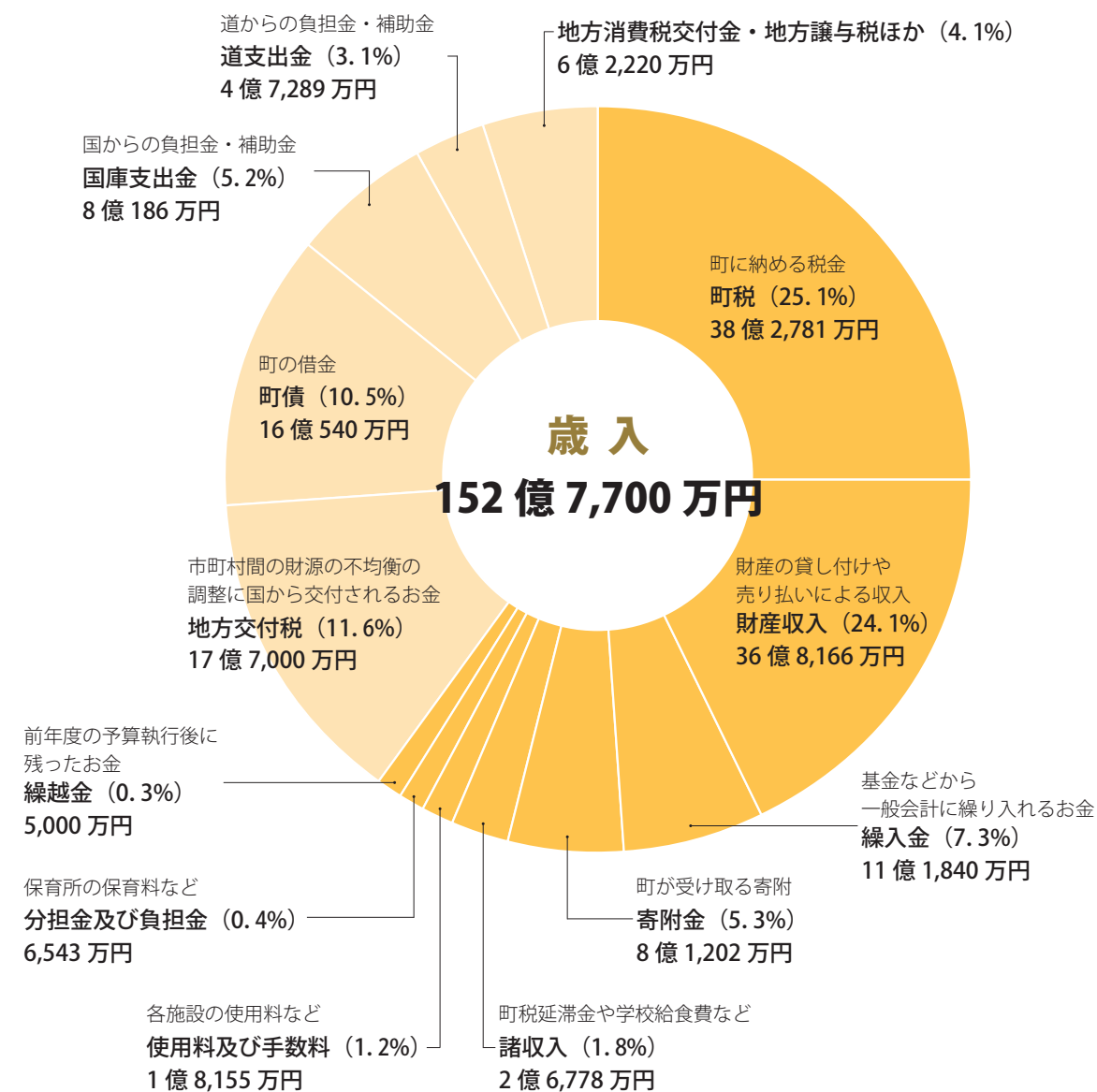
町債

町の「借金」。道路や橋などのように長期にわたって利用される施設の建設に必要な資金について、財政的負担の軽減と世代間の負担の公平を図るという観点から、町債という形でお金を調達（借金）して対応している。

自主財源 = 町が自主的に徴収する財源
依存財源 = 国や道から交付される財源

一般会計の **歳入**

※（ ）内の数字は構成比



比

前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します。

増

財産収入 35 億 8,013 万円

ニセコひらふ地区の町有地売却に伴い大きく増額。

増

町税 5 億 4,620 万円

固定資産税や宿泊税などで増額が見込まれるため。

増

町債 8 億 2,810 万円

街路灯 LED 化などの新規事業、倶知安厚生病院第 2 期整備費用負担事業などの借入れのため増額。

増

寄附金 5 億 900 万円

ふるさと応援寄附金、企業版ふるさと応援寄附金の増額が見込まれるため。

※（ ）内の数字は構成比

令和 5 年度 主な事業

保育人材確保一時金給付事業（605 万円）

保育士等奨学金返還支援事業（261 万円）

保育人材確保を目的に、町内の保育所・認定こども園などの保育士・保育教諭などに対し、一時金の給付、奨学金返還支援助成を行う。

産後ケア事業（453 万円）

産後 1 年以内の支援が必要な産婦に対し、助産師が家庭訪問を行い専門的なケアを提供する。

スキースキーの町スノーリゾート利用事業（1,313 万円）

これまでに引き続き、町内小中学生へのリフトシーズン券の配布を行う。

旧みなみ保育所跡地宅地分譲事業（4,862 万円）

旧みなみ保育所の敷地を宅地分譲地として整備し、今年度中の分譲開始を目指す。

新規就農サポート事業（60 万円）

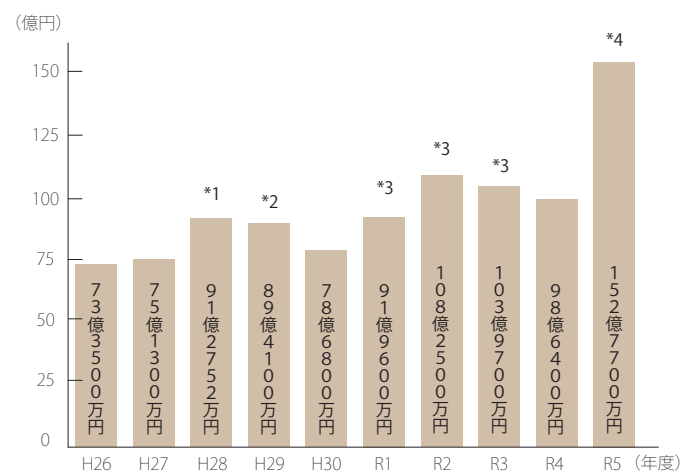
新規就農を目指す農業研修生への家賃助成や研修生を受け入れる農家を支援する。

北海道新幹線倶知安駅西口整備事業（2,530 万円）

北海道新幹線倶知安駅西口を中心とする周辺エリアの整備に係る計画策定を行う。

予算額は前年度から大幅に増額 過去最高となる 152 億円超

一般会計予算の推移（平成 26 年度～令和 5 年度）



今年度は、上に記載する主な事業のほか、今年 1 月から稼働した役場窓口などにおけるキャッシュレス決済の運用事業や出産・子育て応援事業などを実施します。

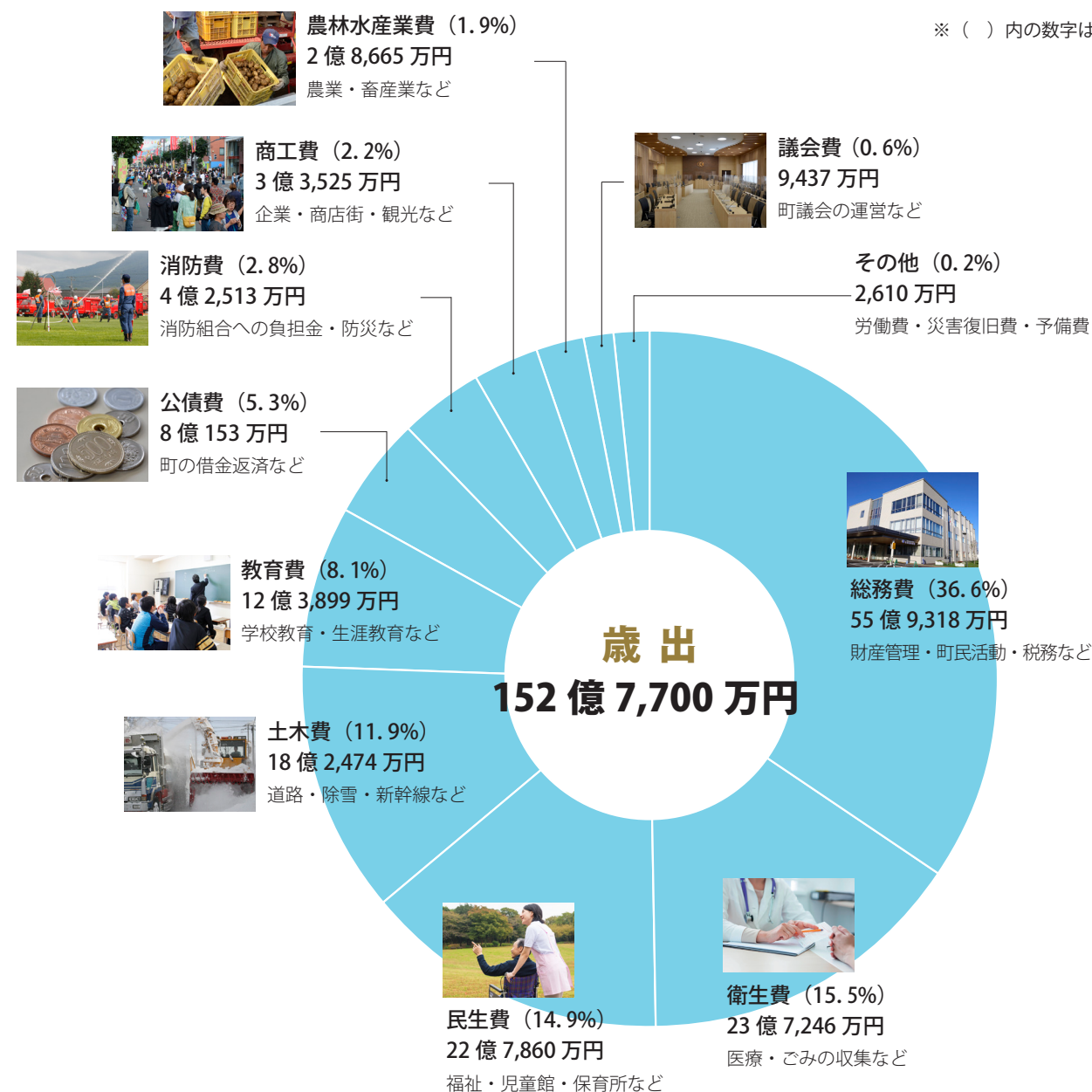
ニセコひらふ地区の町有地売却に伴う基金積み立てや倶知安厚生病院第 2 期改築整備費用負担事業の負担金額が期間中最大となることなどから、一般会計予算額は、前年度比 54.9%（54 億 1,300 万円）増の 152 億 7,700 万円となり、令和 2 年度の 108 億 2,500 万円を超えて過去最高となりました。

- *1 地産地消食育推進施設（学校給食センター）の建設
- *2 くっちゃん保育所ぬくぬくの建設
- *3 役場庁舎の建設
- *4 ニセコひらふ地区の町有地売却に伴う基金積み立て

5月1日
発行

令和 5 年度 予算説明書
アクティブくっちゃん
園総合政策課広報広聴係
☎ 56 - 8001

5 月 1 日発行（広報折り込み）予定の予算説明書「アクティブくっちゃん」では、これらの事業をより詳しく紹介するほか、それ以外の事業についても紹介します。



比

前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します

増

総務費 42 億 4,924 万円

ニセコひらふ地区の町有地売却収入額相当分を基金として新規に積み立てることなどにより増額。

増

衛生費 10 億 8,177 万円

倶知安厚生病院第 2 期改築整備費用負担金、産後ケア業務委託料などにより増額。

増

教育費 9,434 万円

小川原脩記念美術館照明改修工事、小学校放送設備改修工事などにより増額。

